

● 他党派の代表質問の概要をご紹介します

村田正治（自民党、宇治市・久世郡） 2000年7月4日

1 創業・ベンチャーの振興（取り組みと成果）

【知事】 学研都市での研究成果をベンチャー企業の育成につなげるために、けいはんなインキュベーションルームを開設した。7つのベンチャー企業が入居した。また、立地の研究施設の最新技術を活用して府中小企業総合センターの支援のもとに、府内中小企業が新商品開発などを推進するプロジェクトもつくっている。

2 教育問題（①府立学校の在り方懇話会の構成と意見の生かし方、②養護学校の配置と障害児教育の方向）

【教育長】 ①②教育関係者、学識経験者、行政関係者等の分野で活躍の人に委員に就任してもらい、すでに2回開催。委員からは、現行制度の問題点や将来の教育への展望など、自由闊達な意見をいただいている。高校教育部会では、教育内容、選抜方法の在り方、府立高校の適正規模等について、障害児教育部会では、養護学校の配置の在り方、障害の重度・重複化に対応した教育内容等について検討していただいている。本年度は中間まとめ、来年度は最終まとめをしていただく。府教育委員会は、その内容を踏まえ、早急に改善すべきもの、中長期的に検討すべきもの等具体的な改善方策をたてる。

3 20世紀の締めくくり・21世紀の幕あけを飾る取り組み（展覧会、その他の事業）

【知事】 展覧会は、今年9月から11月にかけて、府庁の旧館ほか3会場で開催される。100年間の京都府を振り返り、21世紀を展望するために、開催する。ポスターもつくった。今年の大晦日から1年間、国のインターネット博覧会に、源氏物語というテーマで府も参加するなどがある。

4 雇用問題（①宇治・久御山の緊急雇用安定地域指定、②京都労働局との連携、③介護雇用創出助成金の活用、④緊急雇用特別基金事業の効果）

【知事】 ①国に要望した結果、4月に特定地域に指定され、今回、緊急雇用安定地域に指定された。再就職促進への支援措置などがあり雇用安定に資する。13日には、日産車体連絡協議会を開催して、制度の周知・活用について連携して取り組むようにしたい。②日ごろの調整協議や情報交換につとめ、今年度設置された「労働関係連絡会議」などを通じて密接な連携をはかりたい。③すでに180人分の雇用計画認定をした。介護サービス事業者に周知をはかっている。④平成11年度の事業で雇用されたのは約2700人、おおむね順調にすすんでいる。

5 河川の環境整備（①都市部における河川環境整備の考え方、②木幡池の改善）

【知事】 ①西高瀬川の京の川再生事業にとりかかるなど水環境整備の取り組みを始めた。②水質改善の向け、中池、南池に体積した泥を浚渫した。昨年度さらに河川環境整備事業を導入し、今年度から本格的浚渫に着手する。

6 JR奈良線の整備（①複線化・高速化事業の進捗状況、②全線複線化、③府道の踏み切り改良、④新型車両の導入・渋滞解消のための新しい列車識別装置）

【知事】 ①新鴨川橋梁をはじめ、今回複線化される京都―藤森間、宇治―新田間では新しい下り線の工事がほぼ完成し、現在、上り線の工事がすすめられている。その他の区間でも時間短縮をはかるための工事が完了するなど13年春の完成をめざして順調に進捗している。②今回の整備後の利用状況などを見極めつつ、沿線市町と連携して努力したい。③宇治市以南で8箇所あり、2箇所は迂回する道路新設事業を実施し

ている。他は今後、渋滞状況を十分に見極めた上で、市町のまちづくりとも連携しながら適切な対応策を検討する必要がある。

7 「新宇治淀線」の早期事業化

【知事】 JR奈良線の複線化・高速化にあわせて、昨年度からJR奈良線との立体交差部で宇治市が事業主体となって取り組んでいる。市から要望があり、事業推進の検討をしている。

8 南部地域の農業・農村振興 (①巨椋池地域の農地防災事業の進捗状況と土地改良施設管理に対する土地改良区への支援、②お茶の生産振興と関西茶業振興大会)

【知事】 ①本年3月に起工式がおこなわれ、排水機場の基礎工事がおこなわれている。関連の府営事業は、地元の推進協議会が事業化に向けて調査をしており、支援して、早期に事業化したい。②作業の軽減や省力化が大きな課題で、機械化を可能とする茶園や農道の整備などを支援したい。業界の支援をするとともに、新たな需要開拓も必要で、茶業研究所での研究もすすめる。

● 他会派の一般質問の概要をご紹介します

林田洋（自民党、上京区）2000年7月6日

和装産業の振興（業界の再生への取り組みに対する支援策）

【商工部長】 業界の積極的取り組みが必要。若い人のきものへの愛着と関心を深めるため、高校生等へのきもの修学旅行、きもの着付け講習などをすすめている。また、産地活性化基金を活用し、インターネットによる西陣織の販売システム構築などを積極的に支援したい。

近畿高等学校総合文化祭（開催準備状況、支援、きものPR）

【教育長】 4月に府実行委員会を組織以来、参加16部門で出品、出演等の調整をしており、11月本番に向け、順調に準備がすすんでいる。運営は生徒実行委員会が主体的に携わり、京都らしいものを目指し、プレイベントとして、祇園祭への高校生のボランティア参加など計画している。若者にきもの文化をPRするよい機会であり、高校生が和服で他府県の客を迎えるほか、大会行事などできもの文化に親しむ場となるよう準備をすすめたい。

京都迎賓館（今後の取り組み）

【知事】 平成6年の閣議了解以来、府民の理解と支援で国で着々と事業がすすめられている。外国の賓客にわが国の歴史と文化に根ざした日本の空間を感じてもらえるものにするためには京都の伝統技能、文化、芸術が活用されることが必要、このため今年度は、建都1200年記念協会で、すぐれた技術や材料を生かした作品を国に提案する事業の取り組みがすすめられ、16組合が参加している。さらに国に情報提供をするために、学識経験者、業界、行政の代表者で構成する委員会を記念協会に発足させた。記念協会と連携し、伝統文化が発進できる施設となるよう、国に働きかける。

京の川づくり事業（進捗状況、鴨川公園出町地区の整備）

【土木建築部長】 13河川で、治水対策に留意しつつ、親水護岸や散策路などの整備をすすめており、今後もひきつづきおこなう。鴨川公園はこれまでから順次整備をしている。出町地区は平成10年度から地元や学識経験者、学生などが参加するワークショップ方式で整備を検討しているが、このたび計画内容がまとまった。事業は今秋の工事着手を目途に協議しており、早期完成をはかりたい。